

みやまの風

令和8年3月2日(月)発行

園長 津田 将美

寄 松田



カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

なかよしやどりきわんぱく団の冒険

「明日は発表会でお客さんがたくさんくるから、幼稚園をきれいにしよう！」
保育参観発表会の前日、子どもたちが声をかけ合って自主的に掃除を始めたそうです。日常の遊びの延長として主体的に準備を重ねてきた発表劇ですが、相手意識を持つことも、大事な生きる力です。一生懸命掃除をして汚れた雑巾を満足そうに見せ合う様子を想像して、子どもたちが本当にこの劇を大切にしているんだと、うれしくなりました。

本番当日、子どもたちは本当にお客さんに来ていただくことが楽しみで仕方なかったようで、朝からわくわくが止まらないようでした。心配していた本番での緊張もわずかで、適度な緊張感が期待をさらに高めているようでした。

本番の演技は前号でも紹介した通り、正に日常の遊びの延長で、子どもたちは自分の言葉で感じたことをそのまま表現しているようでした。参観してくださった方々には、園だよりで書いてあることをそのまま実感していただけたと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、小学校の教頭先生と本当に多くの参観をいただきました。ありがとうございました。

発表会の前、10日(火)には伊勢原子ども科学館に行ってきました。この日も「わんぱく団の冒険」でしたが、かみちゃん魔王の神谷さんは普段の運転手さんにもどって、雪の影響が残り渋滞が続く246号線を慎重に安全運転で子どもたちと子どもたちの夢を運んでくれました。なかなか車が進まず、予定より時間はかかりましたが、その時間にも子どもたちは夢をふくらませているようでした。

すすすのために…、とみんなで決めた場所。入館すると同時に歓声上がり、様々なコーナーの様々な不思議な現象を楽しみながら、大切な思い出を5人で作っていました。

発表会が終わってから、園では卒園式にむけての話し合いや準備が始まっています。残された時間はわずかでも、大切な思い出は時間の長さだけではないはず。密度の濃い日々を過ごしながら、なかよしやどりきわんぱく団の冒険は、まだまだ続いていきます。

